

【交付金採択事業一覧】

- ・平成30年度大崎市地域自治組織活性事業交付金の採択事業は、下記のとおりです。
- ・事業内容等の詳細については、別紙をご覧ください。

【ステップアップ事業交付金】 平成30年3月4日第3回審査・大崎市役所北会議室1階(南側)

審査順	申請団体名	事業名	交付決定額
1	松山まちづくり協議会	第10回フランク永井歌コンクール記念事業	200,000円
合 計			200,000円

【ステップアップ事業交付金】 平成30年6月30日第1回審査・大崎市図書館研修室3

審査順	申請団体名	事業名	交付決定額
1	田尻まちづくり協議会	第2回田尻マスター検定事業	180,000円
2	大崎市古川東部コミュニティ推進委員会	自分の身を守りたい+子どもたちを見守りたい「東コミみまもりたい運動」	168,000円
3	緒絶地区協議会	緒絶地区流域地域コミュニティ基盤整備プロジェクト～参加のしくみづくりと緒絶地区協議会の機能・役割の創造～	200,000円
4	鹿島台まちづくり協議会 活力ある産業委員会	鹿島台「知って！来て！留まって！」プロジェクト	200,000円
合 計			748,000円

【ステップアップ事業交付金】 平成30年9月15日第2回審査・大崎市図書館多目的ホール

審査順	申請団体名	事業名	交付決定額
1	鹿島台まちづくり協議会 コミュニティ活動委員会	おおさき宝大使の紹介 中村善二氏・鹿島台出身 地場産品を使用したフランス料理の紹介	200,000円
2	鳴子まちづくり協議会	「おだやかな革命」上映会	200,000円
3	松山まちづくり協議会 教育文化部会	地域歴史伝承事業 「昔話の紙芝居をつくる」	200,000円
合 計			600,000円

【チャレンジ事業交付金】平成31年3月2日第3回審査・大崎市図書館多目的ホール

審査順	申請団体名	事業名	交付決定額
1	三本木まちづくり協議会 安全部会	「災害対応行動表」作成プロジェクト	176,000円
2	鹿島台まちづくり協議会 のびのび生涯学習委員会	伝えよう！おらほの宝，おらほのふるさと	452,000円
合 計			628,000円

平成30年度大崎市地域自治組織活性事業交付金（ステップアップ事業交付金及びチャレンジ事業交付金）採択事業の詳細

No. 1	団体名：松山まちづくり協議会	代表者：小原 文夫
	事業名称：第10回フランク永井歌コンクール記念事業 地域の宝である昭和歌謡界に活躍した松山出身のフランク永井さんの歌を歌うコンクールを出身地の松山で開催してきました。 今回10回という区切りにあたり、記念大会として今までのコンクールに加え、1回目からの優勝者10名によるグランドチャンピオン大会を開催します。またスペシャルコーナーとして、フリーアナウンサー宮本隆治氏が「フランク永井こぼれ話」（仮称）歌と語りを行います。事業継続のために関係者への感謝、活力醸成・情報発信を行います。	
No. 2	団体名：田尻まちづくり協議会	代表者：太田 孝
	事業名称：第2回田尻マスター検定事業 平成29年度に初めて本事業の初級コースを実施した。全戸に配布し、さらに小学校高学年及び中学生全員にも配布し解答をお願いしたが、PR不足や時間的な制約もあり、3.8パーセントと低く、十分な成果が得られたとは言えなかった。そこで今年度も反省を踏まえ、問題も見直して初級、中級コースを実施して、その中級コースの認定者と昨年度の中級コース認定者19名とを合わせて上級コースの検定を行う。さらなる地域おこしに寄与することを目的としている。	
No. 3	団体名：大崎市古川東部コミュニティ推進協議会	代表者：村上 広男
	事業名称：自分の身(み)を守りたい(まもりたい)+子どもたちを見守りたい(みまもりたい) 「東コミみまもりたい運動」	

	<p>児童数600人を超える古川第二小学校を地域内に擁する当地域では、未来を担う子どもたちの登下校の安全確保と高齢者の健康維持、孤立防止が課題となっています。事業名の「みまもりたい」には、高齢者自身が「自分の身を守る」こと（健康・仲間づくり）と地域住民の目で「子どもたちを見守ること」（登下校の安全確保）の2つの意味が込められています。この事業を通じて、地域住民と子どもたちが笑顔であいさつを交わせるまちづくりを目指します。</p>	
No. 4	<p>団体名：緒絶地区協議会</p>	<p>代表者：早坂 剛</p>
	<p>事業名称：緒絶地区流地域コミュニティ基盤整備プロジェクト ～参加のしくみづくりと緒絶地区協議会の機能・役割の創造～</p>	
	<p>役員の重複化や高齢化、担い手不足など、若い人材のまちづくりへの参加率の低さが課題となっている。また、これまでの事業活動は、行政区長や町内会長等が中心で、新たな人材の参画機会が減少し、将来の担い手となる地域の牽引者が育まらない環境にある。そこで、おだえ・にこにこ学園実行委員会の設立や企画と実践、ワークショップの開催、各種まちづくり団体の意見交換会の開催等を通じて、地域活動への参加と緒絶地区協議会の機能・役割を地域の声をもとに創造していく。</p>	
No. 5	<p>団体名：鹿島台まちづくり協議会活力ある産業委員会</p>	<p>代表者：萩 川 正</p>
	<p>事業名称：鹿島台「知って！来て！留まって！」プロジェクト</p>	
	<p>統一感のある装備品や資機材等の購入により、主催者側の負担減に繋げる。また、単発の事業ではなく継続性のある事業にすることはもとより、主催者だけでなく、出店者・参加者のつながりから、ふりかえりや新たな取り組みに向けた話し合い等に参加してもらえるしくみをつくり、そこから新たな人材発掘や育成に繋げる。その中で、「鹿島台らしさ」「鹿島台だけ」をテーマにした話し合いを行い、「鹿島台だから来た」と言ってもらえる地域を目指す。</p>	
No. 6	<p>団体名：鹿島台まちづくり協議会コミュニティ活動委員会</p>	<p>代表者：菅原 秋雄</p>
	<p>事業名称：おおさき宝大使の紹介（中村善二氏・鹿島台出身） 地場産品を使用したフランス料理の紹介</p>	
	<p>地元（鹿島台）出身の誇れる人材「おおさき宝大使」を広く知ってもらい、地元への愛着・誇りを持ってもらうと共に、「自分でも頑張ることで何かかができる」といった、心の起爆剤にすることを目的にしている。</p> <p>また、主催者側と参加者側で交流し、ふりかえりや新たな取り組みに向けた話し合い等に参加してもらえるしくみをつくることで、そこから新たな人材発掘や育成に繋がりたい。</p>	
No. 7	<p>団体名：鳴子まちづくり協議会</p>	<p>代表者：中鉢 幸一</p>
	<p>事業名称：「おだやかな革命」上映会</p>	

	<p>ドキュメンタリー映画「おだやかな革命」鑑賞によって地域づくりに奮起した鳴子地域住民を募る事を目的として上映会を開催する。鳴子温泉地域は長く低迷状態が続き打開策を見出せずにいるが、日本各地で地域住民が地域資源を活用して新事業を興し活性化している事例を映画によって知る。それらの事例の中から鳴子での応用策を検討・計画・実行へと意欲を抱く事が予想される。鳴子での地域づくりへの意欲を持ち振興策を実行へと取り組む人材を発掘し組織作りの基盤とする。</p>	
No. 8	<p>団 体 名：松山まちづくり協議会 教育文化部会</p>	<p>代表者：齋藤 美智子</p>
	<p>事業名称：地域歴史伝承事業「昔話の紙芝居をつくる」</p>	
	<p>まつやま語りの会は地域に伝わる昔話を伝える活動をしています。現在はあおぞら園，松山小学校，公民館，老人会などに出前講座を行っています。また松山文化祭でも発表しています。今は昔話を語りの中心にしていますが，心にとどめてもらうには，紙芝居を製作し，印象づけるのが良いのではと話し合いをしました。そこで，お祭りなどで協力関係にある地元の松山高校の生徒に絵を描いてもらうことにしました。また，大勢の人たちに見てもらうため拡声装置も準備します。</p>	
No. 9	<p>団 体 名：三本木まちづくり協議会安全部会</p>	<p>代表者：伊藤 勇輔</p>
	<p>事業名称：「災害対応行動表」作成プロジェクト</p>	
	<p>平成27年11月に安全部会で行った「9.11豪雨災害アンケート」の報告やその後の話し合いの中で、住民への減災防災の意識づけや、家庭でどんな行動を取れるか等の意見が挙がりました。そうした意見を活かすため、部会内で話し合いを行い「いつも目に留まる行動表」の作成が提案されました。この行動表は市役所防災安全課や三本木消防出張所の監修も頂き、地元のデザイナーや通所作業所とも連携して作成を計画しました。この活動が市内全域に広がる事を期待します。</p>	
No.10	<p>団 体 名：鹿島台まちづくり協議会のびのび生涯学習委員会</p>	<p>代表者：佐々木 正好</p>
	<p>事業名称：伝えよう！おらほの宝，おらほのふるさと</p>	
	<p>鹿島台地域の宝は，鎌田三之助翁とその残した功績です。近年，時代の流れからか，子供たちが翁について学ぶ機会が少なくなっています。核家族化の影響もあり，お年寄りがその功績を語り伝えにくい環境となっており，実際に翁と会い話をした方々もかなりの高齢となっております。このことから「鎌田三之助すごろく」を考案しました。また，地域の方々にもっとふるさとについて知って欲しいと思い，「ふるさとすごろく」を併せて考案いたしました。</p>	